

■主役は俺だ－2024年秋③

□鏡順之助（かがみ・じゅんのすけ） 帯広畜産大4年 C/D T

「親子鷹」が秋本番を前に爪をといでいる。伝統のラン攻撃を武器に悲願の初優勝を狙うカウボーイズの攻撃ラインの真ん中で、179センチ、93キロの恵まれた体を生かして強烈なブロックを繰り返す。「得意プレーはインサイドのラン。どんな状況でも正確なブロックができる」と胸を張る。2試合を行った春のオープン戦は、北海学園大のパスには敗れたが、釧路公立大とのライバル対決では2年生QB岡田優人（神奈川・横浜東高）を守る鉄壁のパスプロテクションとQBキープを支える迫力のブロックで2TDを演出した。「目標は全道制覇と全日本大学選手権で1勝」との言葉に力を込めた。



父の義和さんも北海道大でCとDLを務めた。1年生から先発し、2年生の1982年には北海道大の初優勝に貢献。3、4年生と2年連続でベストイレブンにも選ばれた。滝川高では弓道部だった順之助が、父親譲りの恵まれた体で帯広畜産大アメフト部の門をたたいた時、父は「いっぱい、けがをするぞ」と言いながら「やってみればいいじゃん」と背中を押したという。「ガツガツ当たるところがおもしろい」と選んだポジションは父と同じライン。3年生からはCとDTを任せられ「父を意識するようになった。父に負けたくない」と、もう一つの目標になった。

最上級生の今季、主将のQB外崎智史（大野農業高）を支える副将を務める。「外崎はイケイケなので、自分は俯瞰してチーム全体に目を配る。外崎が不在の時はチームをしっかりと引っ張る存在になりたい」と決意する。1年生4人を含めて17人の少数精鋭で臨むシーズンだが「最後まで質の高いプレーができるように体カメニューに力を入れてきた」と準備に抜かりは無い。「Cとして、チームが落ち込んだ時も支える選手に。DTとしては、まだやったことのないQBサックをしたい。絶対、チームが盛り上がるから」と宣言した。（塚田博）

〈プロフィール〉

2002年6月29日、滝川生まれ。畜産学部畜産科学課程4年。「北海道優勝に向けて全員で取り組んでいるところにひかれた」と入部。40年前に父が選ばれたベストイレブンも狙う。